

白いぼうし

★実施時期：5月

★指導時間数：10時間

【学習指導要領】

C(1)イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。
エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。
カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
(2)イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

【単元の目標】

・情景や場面の様子を表す言葉に着目し、登場人物の行動や気持ちを捉え、場面の様子と結び付けて具体的に想像すること。
・登場人物の行動や気持ちを捉え、場面の様子と結び付けて具体的に想像しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
構造の把握内容	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。	◎物語全体の松井さんの行動や気持ちについて、叙述を基に捉えている。	・物語全体の松井さんの行動や気持ちについて、叙述を基に捉えようとしている。
精査・解釈	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読する技能を身に付けている。	◎松井さんの気持ちの変化や性格、情景について、場面の様子と結び付けて具体的に想像している。	・松井さんの気持ちの変化や性格、情景について、場面の様子と結び付けて具体的に想像しようとしている。
形成の		・物語を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	
共有		・物語を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	

花を見つける手がかり

★実施時期:5月下旬～6月上旬

★指導時間数:10時間

【学習指導要領】

C(1)ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。
 ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。
 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。
 カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
 (2)ア 記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。

【単元の目標】

・考えとその事例、文や文章のつながりなどに着目し、叙述を正確に捉え、結果と結論の関係を捉えること。
 ・叙述を正確に捉え、結果と結論の関係を捉えようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
構造 把と 握内 容の	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。	◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。	・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えようとしている。
精 査 ・ 解	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	◎目的を意識して、実験を比較してまとめ、結果と結論のつながりを捉えている。	・目的を意識して、実験を比較してまとめ、結果と結論のつながりを捉えようとしている。
考 え の 形 成	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	
共 有		・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	

リーフレットで知らせよう

★実施時期:6月

★指導時間数:10時間

【学習指導要領】

B(1)ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。
 イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。
 ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。
 エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えること。
 オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
 (2)ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。

【単元の目標】

・書き言葉のきまりに着目し、書く内容の中心が明確になるよう、文章の構成を考え、工夫すること。
 ・書く内容の中心が明確になるよう、文章の構成を考え、工夫しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
報題の材の収の検集設計、定内、内容	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つ技能を身に付けている。 前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、伝えたいことが明確になるようリーフレットの内容を考えている。 	
構成の検討	<ul style="list-style-type: none"> 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎書く内容の中心を明確にし、伝えたいことに合った資料を選んだり、内容のまとまりごとに書いたりして、文章の構成を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 書く内容の中心を明確にし、伝えたいことに合った資料を選んだり、内容のまとまりごとに書いたりして、文章の構成を考えようとしている。
考えの記述形成、	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く技能を身に付けている。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き方を工夫しようとしている。
推敲		<ul style="list-style-type: none"> ◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えようとしている。
共有		<ul style="list-style-type: none"> 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 	

ぞろぞろ（落語）

★実施時期：7月

★指導時間数：10時間

【学習指導要領】

C(1)イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。
エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。
オ 文章を読んで理解したことに基いて、感想や考えをもつこと。
カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
(2)イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

【単元の目標】

・言葉の抑揚や強弱、間の取り方など音読の仕方に着目し、登場人物の様子や気持ちの移り変わり、性格を捉え、場面の様子と結び付けて具体的に想像すること。
・登場人物の様子や気持ちの移り変わり、性格を捉え、場面の様子と結び付けて具体的に想像しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
構造の把握と内容	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す技能を身に付けている。	◎落語全体の登場人物の様子や気持ちについて、叙述を基に捉えている。	・落語全体の登場人物の様子や気持ちについて、叙述を基に捉えようとしている。
精査・解釈	・前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。	◎登場人物の気持ちの移り変わりや性格について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	・登場人物の気持ちの移り変わりや性格について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像しようとしている。
形成の	・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読する技能を身に付けている。	・落語を読んで理解したことに基いて、音読したり、演じたりしている。	
共有		・落語を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	

一つの花

★実施時期：9月

★指導時間数：9時間

【学習指導要領】

- C(1)イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。
 エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。
 オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。
 カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
 (2)イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

【単元の目標】

- ・様子や行動を表す言葉に着目し、場面の様子を比べて読み、登場人物の様子や思いを想像すること。
- ・場面の様子を比べて読み、登場人物の様子や思いを想像しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
構造の把握内容	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。	・物語全体のゆみ子やお父さん、お母さんの行動や気持ちについて、叙述を基に捉えている。	
精査・解釈	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読する技能を身に付けている。	◎ゆみ子やお父さん、お母さんの気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。	・ゆみ子やお父さん、お母さんの気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像しようとしている。
形成の	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	◎文章を読んで理解したことや心に残ったことについて、感想や考えをもっている。	・文章を読んで理解したことや心に残ったことについて、感想や考えをもとうとしている。
共有		・物語を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	

ごんぎつね

★実施時期:10月

★指導時間数:8時間

【学習指導要領】

C(1)イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。
エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。
カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
(2)イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

【単元の目標】

・様子や行動を表す言葉に着目し、場面の移り変わりと結び付けて、登場人物の行動や気持ちの変化を捉えること。
・場面の移り変わりと結び付けて、登場人物の行動や気持ちの変化を捉えようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
構造の把握と内容	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。	・物語全体のごんと兵十の行動や気持ちについて、叙述を基に捉えている。	
精査・解釈	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読する技能を身に付けている。	◎ごんと兵十の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	・ごんと兵十の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像しようとしている。
形成の	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもとうとしている。
共有		・物語を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	

新スポーツを考えよう

★実施時期:11月

★指導時間数:8時間

【学習指導要領】

A(1)ア 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。
 オ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。
 (2)ウ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動。

【単元の目標】

・情報と情報の関係や、比較や分類の仕方に着目し、話し合って考えをまとめるために、互いの意見の共通点や相違点を確認しながら考えをまとめること。
 ・話し合って考えをまとめるために、互いの意見の共通点や相違点を確認しながら考えをまとめようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話題の収集、設定、内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す技能を身に付けている。 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 	
話し合いの形成、進め方(共有)の検討、話し合うこと	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く技能を身に付けている。 ◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報の関係について理解している。 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎目的や進め方を確認し、司会や記録などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的や進め方を確認し、司会や記録などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめようとしている。

ウミガメの命をつなぐ

★実施時期:11月

★指導時間数:9時間

【学習指導要領】

C(1)ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。
ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。
オ 文章を読んで理解したことに基ついて、感想や考えをもつこと。
カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
(2)ア 記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。

【単元の目標】

・考えとその事例、文や文章のつながりなどに着目し、叙述を正確に捉え、中心となる語や文を見付けて要約すること。
・叙述を正確に捉え、中心となる語や文を見付けて要約しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
構造 把と 握内 容の	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。	・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。	
精 査 ・ 解	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	◎目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。	・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約しようとしている。
考 え の 形 成	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う技能を身に付けている。	◎文章を読んで理解したことに基ついて、感想や考えをもっている。	・章を読んで理解したことに基ついて、感想や考えをもとうとしている。
共 有		・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	

「不思議ずかん」を作ろう

★実施時期：12月

★指導時間数：6時間

【学習指導要領】

B(1)ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。
 イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくらせたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。
 ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。
 エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えること。
 オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
 (2)ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。

【単元の目標】

・引用の仕方や出典の示し方などに着目し、伝えたいことが明確になるよう、文章の構成を考え、工夫すること。
 ・伝えたいことが明確になるよう、文章の構成を考え、工夫しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
報題の材の収の検集設討、定内、容情	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つ技能を身に付けている。 ・前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことが相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう内容を考えている。 	
構成の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く技能を身に付けている。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書く内容の中心を明確にし、写真や図表を効果的に使ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 	
考えの記述形成、	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く技能を身に付けている。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、題名や書き出し、言葉遣いなどの書き方を工夫している。 	
推敲		<ul style="list-style-type: none"> ◎分かりやすい言葉に言い換えたり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい言葉に言い換えたり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えようとしている。
共有		<ul style="list-style-type: none"> ◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けようとしている。

「便利」ということ

★実施時期：1月

★指導時間数：6時間

【学習指導要領】

C(1)ア 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。
 ウ 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約すること。
 オ 文章を読んで理解したことに基ついて、感想や考えをもつこと。
 カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
 (2)ア 記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。
 ウ 学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。

【単元の目標】

・情報と情報の関係や引用の仕方に着目し、考えを支える理由や事例を引用して、自分の考えを説明すること。
 ・考えを支える理由や事例を引用して、自分の考えを説明しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
構造 把と 握内容 の	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ・前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。	・段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。	
精 査 ・ 解	・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて段落の関係を捉えている。	
考 え の 形 成	◎考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ◎比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使う技能を身に付けている。	◎文章を読んで理解したことに基ついて、感想や考えをもっている。	・文章を読んで理解したことに基ついて、感想や考えをもとうとしている。
共 有	◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付こうとしている。

自分の成長を振り返って

★実施時期:2月

★指導時間数:9時間

【学習指導要領】

B(1)ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。
 イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。
 ウ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫すること。
 エ 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えること。
 オ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。
 (2)ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。

【単元の目標】

・書き言葉のきまりや主語、述語などに着目し、伝えたいことが明確になるよう、文章の構成を考え、工夫すること。
 ・伝えたいことが明確になるよう、文章の構成を考え、工夫しようとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
報題の材の収の検集設討、定内、容情	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ◎漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つ技能を身に付けている。 ・前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。	・相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう内容を考えている。	
構成の検討	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。 ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	・書く内容の中心を明確にし、伝えたいことに合わせて段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。	
考えの述形成、	・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書く技能を身に付けている。	◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き方を工夫している。	・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き方を工夫しようとしている。
推敲	・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えている。	・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているか確かめたりして、文や文章を整えようとしている。
共有		◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分や友達の記事のよいところを見付けている。	・書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分や友達の記事のよいところを見付けようとしている。

木竜うるし

★実施時期:3月

★指導時間数:8時間

【学習指導要領】

C(1)イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。
エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。
オ 文章を読んで理解したことに基ついて、感想や考えをもつこと。
カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。
(2)イ 詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。

【単元の目標】

・言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに着目し、登場人物の行動や気持ちの変化をとらえ、感じたことや考えたことを話し合うこと。
・登場人物の行動や気持ちの変化をとらえ、感じたことや考えたことを話し合おうとする態度を養うこと。

【具体的な評価規準例】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
構造の把握と内容	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話す技能を身に付けている。	・脚本全体の権八と藤六の行動や気持ちについて、叙述を基に捉えている。	
精査・解釈	・前学年までに配当されている漢字を正しく使い、当該学年までに配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う技能を身に付けている。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。	・権八と藤六の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	
形成の	・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読する技能を身に付けている。	◎脚本を読んで理解したことに基ついて、感想や考えをもっている。	・脚本を読んで理解したことに基ついて、感想や考えをもとうとしている。
共有	・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	◎脚本を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	・脚本を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付こうとしている。